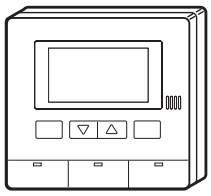
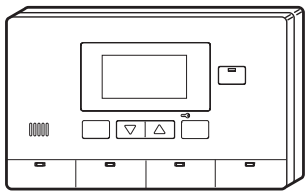
National

工事説明書

ヒートポンプ給湯機用リモコン

コミュニケーション リモコンセット (台所リモコン+浴室リモコン)	ボイス リモコンセット (台所リモコン+浴室リモコン)	増設リモコン	床暖房リモコン
HE-AQFAW HE-RQFAW HE-RSFAW	HE-RQVAW HE-RSVAW	HE-AQVAZ HE-RQVAZ	HE-RUA





もくじ

ページ

安全上のご注意 ……2
同梱部品 ……2
施工上のお願い ……3
浴室リモコン工事
〈ユニットバスへの取り付け〉 ……4
〈一般浴室への取り付け〉 ……6
台所・増設・床暖房リモコン工事
〈リモコンコード露出配線の場合〉……8
〈リモコンコード埋込配線の場合〉……10
ヒートポンプ給湯機との接続……12
HAシステムの接続 ……13
工事完了後の確認……13

＊工事される方へのお願い

この工事説明書は、工事作業者が正しく、安全な工事をするために必要な手引書です。
工事開始前に必ずお読みください。
本書の設置条件を外れた設置が原因で生じた故障などは、保証期間内であっても保証の対象になりませんので、ご注意ください。
設置工事後、この工事説明書は取扱説明書と一緒に、お客様にお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

● 施工される人およびお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

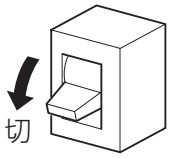
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で説明しています。

❗	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠注意

工事は、ブレーカーを「切」にしてから行う

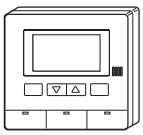
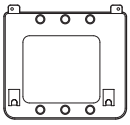
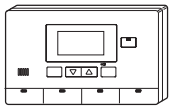
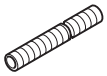
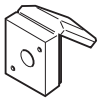
❗



ブレーカー

感電の原因となります。

同梱部品

部品名	形　状
台所リモコン 増設リモコン 床暖房リモコン 	 リモコン取付板 PYプラグ さら木ネジ さら小ネジ(大) なべ小ネジ(小) Y端子
浴室リモコン 	PYプラグ なべ木ネジ 平座金  空気抜きパイプ 化粧カバー用パッキン  化粧カバー ナット チューブ ケッソクバンド

施工上のお願い

■次の基準、規定に従って設置してください。
- 電気設備技術基準
- 内線規定

■パイプシャフト内に機器の電気配線、リモコン用配線を行う場合には電気設備技術基準に準じた防爆工事を行ってください。

■メタルラス張りなどの壁を貫通する場合は、メタルラスと金属電線管が電気的に接続しないようにしてください。

■コードは当社別売品の「リモコンコード」を使用してください。

■壁に穴をあけるとき、大きくあけすぎると固定できなくなるので、注意してください。

■壁に貫通穴をあけるときは、壁内部にある柱・鉄筋の位置を確認して、取付位置を決めてください。

■リモコンコードの延長がそれぞれ25 m以内になるように配線工事を行ってください。

■リモコンコードは、動かないようにステップルなどで固定してください。
（リモコンコード露出配線の場合）

■リモコンコードは直接熱の影響を受けないところに配線してください。

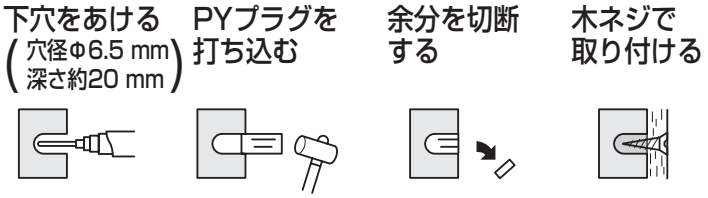
■リモコンコードをコンクリートなどに埋め込む場合には、電線管などに収め、コードに傷がつかないようにしてください。

■設置工事で発生した鉄粉が、リモコン内蔵のスピーカーに付着すると、スピーカーの音が出なくなるおそれがあります。リモコン内部に鉄粉や異物が入らないようにしてください。

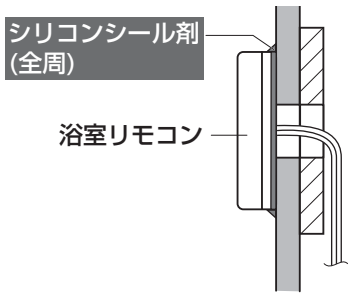
■リモコンのネジ止めには、電気ドライバー、インパクトドライバー等は使用しないでください。
破損や変形のおそれがあります。

■リモコン取付工事に必要のないネジは絶対に締め付けたり、ゆるめたりしないでください。

■タイル、コンクリート、モルタルなどの壁のときは、PYプラグを壁に打ち込み、木ネジで取り付けてください。



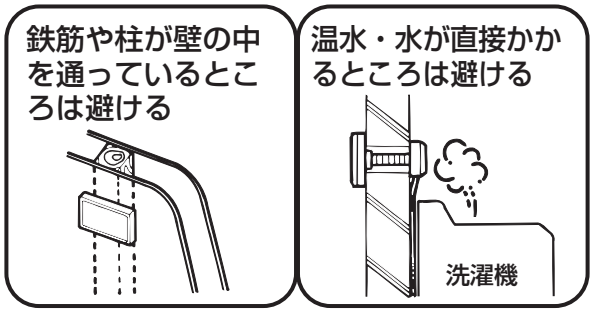
■浴室リモコン取り付け後は、全周にシリコンシール剤を塗布してください。シリコンシール剤塗布が不十分ですと、水や蒸気が浸入して、故障するおそれがあります。



浴室リモコン工事 〈ユニットバスへの取り付け〉

取り付け場所を選定する

- お客様と相談して使いやすい場所を選んでください。
- 貫通穴は壁の内部にある柱や鉄筋がない場所を選んでください。（リモコンコードが接続できなくなります）
- リモコンに温水・水が直接かかりにくい場所を選んでください。（リモコンに水が入ると故障の原因となります）
- 段差のない場所を選んでください。

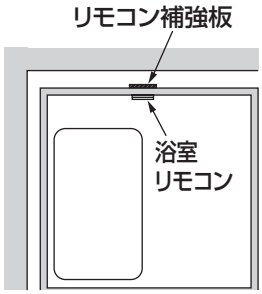


ユニットバスへの取り付け

〔単位：mm〕

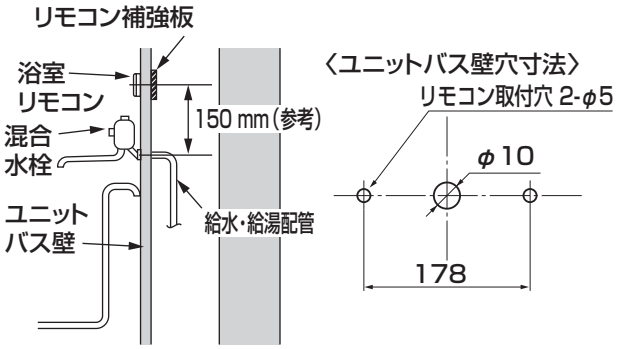
1．リモコン補強板をはる

- ユニットバスの搬入の前にリモコン補強板（木片など）をユニットバスの裏側に接着剤などで取り付けてください。（リモコン補強板は現地調達してください）



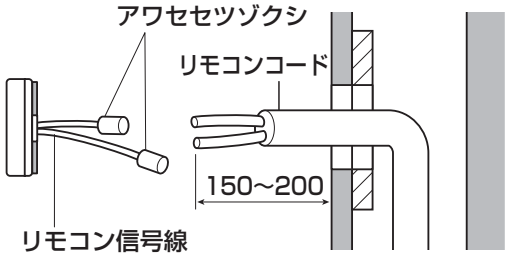
2. ユニットバスとリモコン補強板の穴あけ

- ユニットバスとリモコン補強板同心で、リモコンコードを通すためのφ10程度の貫通穴をあけてください。（混合水栓の上、約150 mm）
- リモコン取付穴をあけてください。リモコン取付穴はユニットバス壁を貫通し、リモコン補強板を貫通しないように注意してあけてください。



3. リモコン信号線を引き出す

- ユニットバスを設置するとき、リモコンコードを穴から150～200 mm引き出してください。

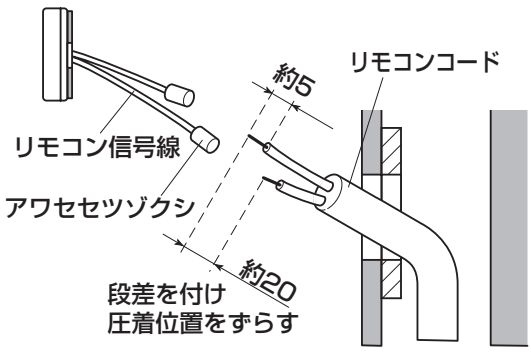


4. 浴室リモコンとリモコンコードを接続する

- リモコンコードの被覆を約5 mmはがし、浴室リモコン側のリモコン信号線先端のアワセセツゾクシに差し込み、圧着して接続してください。

〔お願い〕

- リモコン信号線やリモコンコードが金属エッジ部などに触れるおそれがある場合は、ビニールテープなどで保護してください。

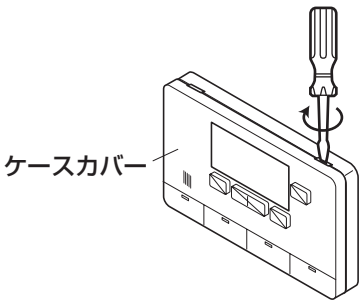


5. 浴室リモコンを壁に固定する

① 取り付ける壁面の水気、油分を乾いた布などでふき取ってください。

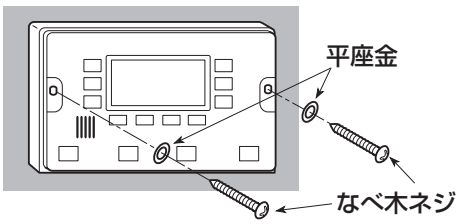
② ケースカバーを取り外してください。

※ ㊀ドライバーを図のように使用するとケースカバーの取り外しができます。



③ 裏面のパッキンの離型紙をはがして壁面に水平に貼り付けてください。（仮固定）

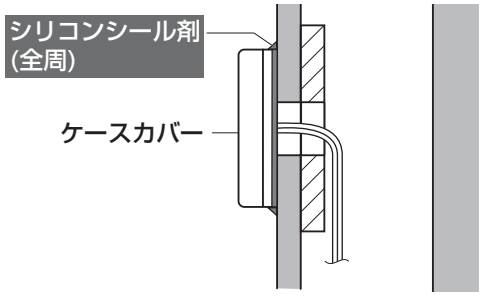
④ 同梱のなべ木ネジと平座金で浴室リモコンをユニットバス壁面に固定してください。



6. ケースカバーを取り付ける

7. シリコンシール剤を塗布する

- 浴室リモコン全周にシリコンシール剤を塗布してください。シリコンシール剤塗布が不十分ですと、水や蒸気が浸入して、故障するおそれがあります。



浴室リモコン工事 〈一般浴室への取り付け〉

一般浴室への取り付け

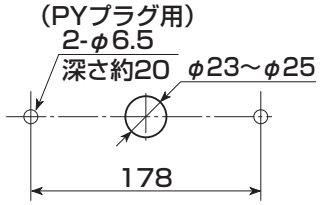
●4ページの **取り付け場所を選定する** に従ってください。

〔単位：mm〕

1. 壁に貫通穴をあける

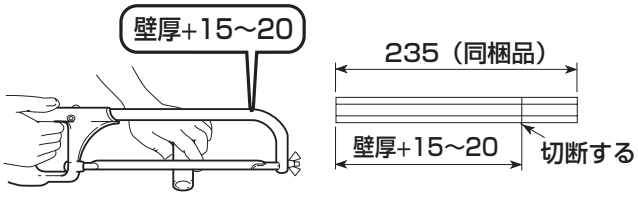
- φ23～φ25の貫通穴を壁に対して直角にあけてください。
- 貫通穴を大きく（φ30以上）あけると浴室リモコンの固定ができなくなります。
- PYプラグを使用する場合は、PYプラグ用の穴をあけてPYプラグを打ち込んでください。（3ページ）

〈壁穴寸法〉



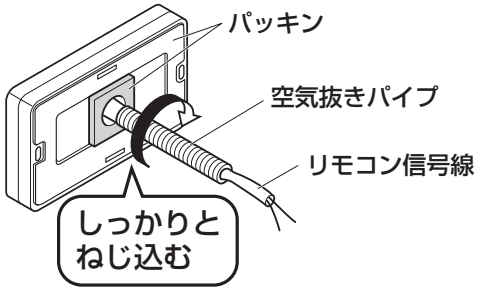
2. 空気抜きパイプを切断する

- 壁厚プラス（15～20 mm）の長さで切断してください。
- 壁厚が220～335 mmの場合は、別売品の厚壁用空気抜きパイプ (品番：AD-3722-1)を使用してください。
- 壁厚が70 mm以下の場合は、壁と化粧カバーの間にスペーサー等を入れてください。



3. 浴室リモコンに空気抜きパイプを接続する

- 空気抜きパイプにリモコン信号線を通して、ねじ込んでください。

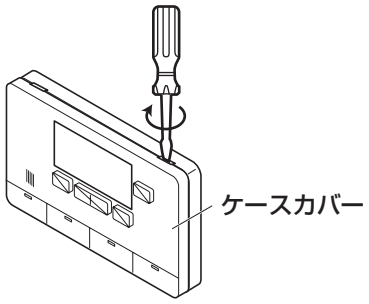


4. 浴室リモコンを壁に固定する

① 取り付ける壁面の水気、油分を乾いた布などでふき取ってください。

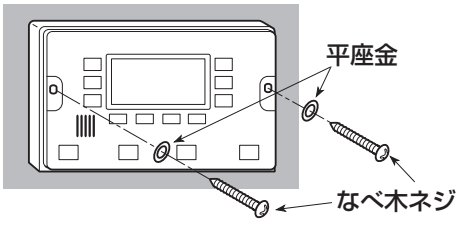
② ケースカバーを取り外し、ネジ穴と取り付け穴の位置が合っていることを確認します。

※ ㊀ドライバーを図のように使用するとケースカバーの取り外しができます。



③ 裏面のパッキンの離型紙をはがし壁面に水平に貼り付けてください。（仮固定）

④ 同梱のなべ木ネジと平座金で浴室リモコンを壁面に固定してください。

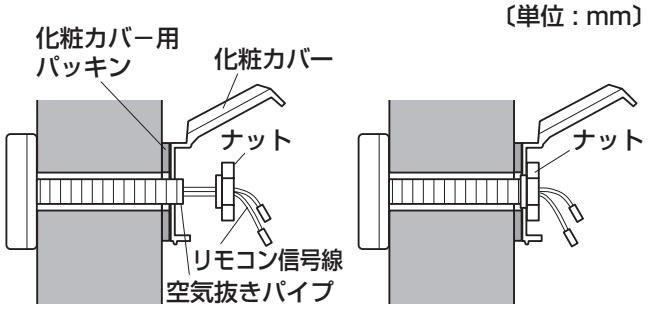


5. ケースカバーを取り付ける

〔単位：mm〕

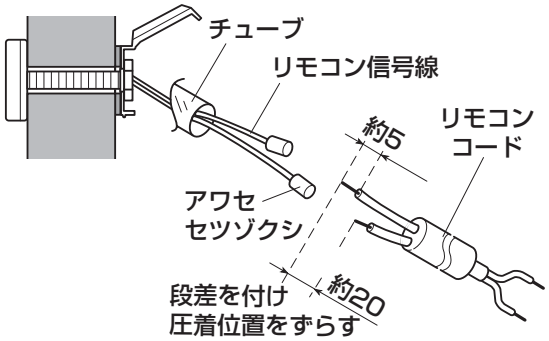
6. 化粧カバーを取り付ける

- 化粧カバーの取り付け面にあらかじめ化粧カバー用パッキンを貼り付けてください。
- 空気抜きパイプを化粧カバーの穴に通して同梱のナットをねじ込んで固定してください。



7. リモコンコードとリモコン信号線を接続する

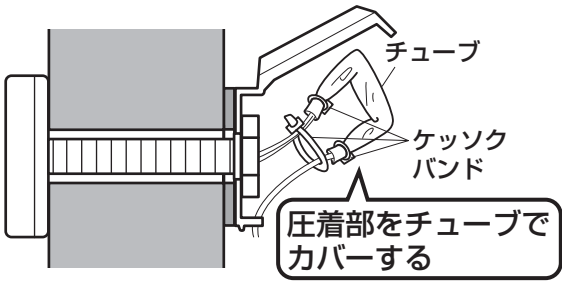
① リモコン信号線2本をチューブに入れてから、リモコンコードの先端をアワセセツゾクシに差し込み、圧着して接続してください。



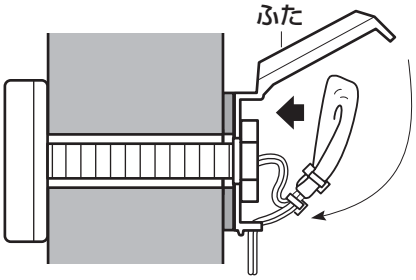
② チューブで圧着部を覆い、ケッソクバンドで結束します。(3か所)

〔お願い〕

- リモコン信号線やリモコンコードが金属エッジ部などに触れるおそれがある場合は、ビニールテープなどで保護してください。

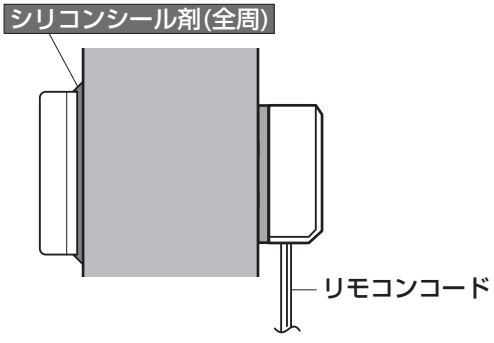


8. 化粧カバーのふたをする



9. シリコンシール剤を塗布する

- 浴室リモコン全周にシリコンシール剤を塗布してください。シリコンシール剤塗布が不十分ですと、水や蒸気が浸入して、故障するおそれがあります。



台所・増設・床暖房リモコン工事

取り付け場所を選定する

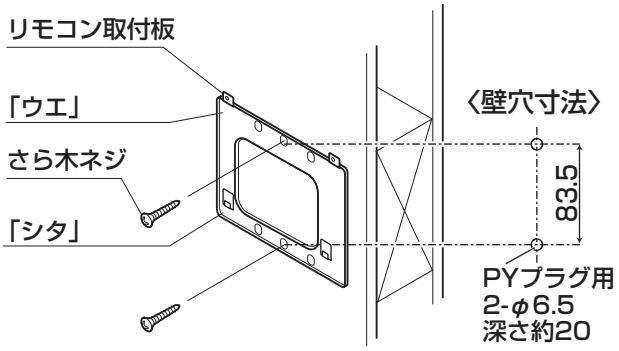
- お客様と相談して使いやすい場所を選んでください。
- ガステーブルなど燃焼器具の上以外の場所を選んでください。
- 直射日光・水しぶき・蒸気・水滴がかからない場所を選んでください。

リモコンコード露出配線の場合

〔単位：mm〕

1. 壁に穴をあける

- PYプラグを使用する場合は、PYプラグ用の穴をあけてPYプラグを打ち込んでください。
  （3ページ）



2. リモコン取付板を固定する

- 必ず同梱のさら木ネジを使用してください。
  同梱のネジ以外（なべ小ネジなど）を使用すると、リモコンの背面ケースにネジ頭が当たり、リモコンが取り付けにくくなります。

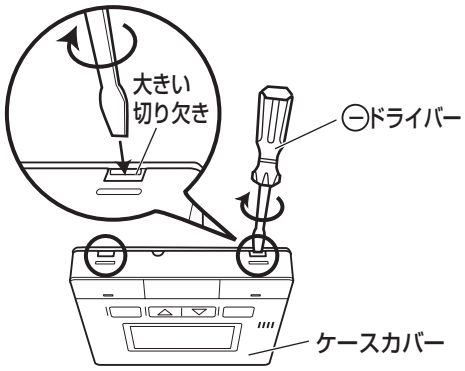
- リモコン取付板が壁の仕上げ面と同一面となるように固定してください。
- 壁の化粧クロスが厚い場合、リモコンが乗り上げて、取り付けできなくなることがあります。
  （リモコン取付板が仕上げ面より深く沈み込む程、ネジを強く締め付けないでください）

3. ケースカバーを外す

- ケースカバーは、はめ込み式になっています。

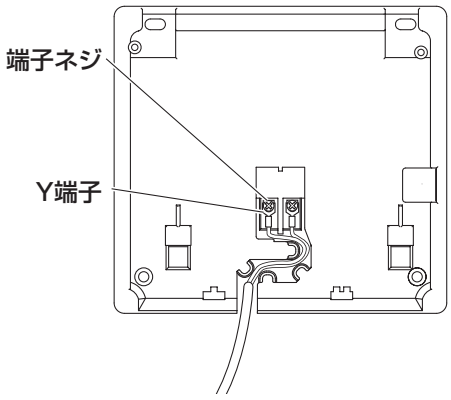
※ リモコンの下部側を上にして行ってください。

※ ㊀ドライバーを図のように使用するとケースカバーの取り外しができます。



4. リモコンコードを接続する

- 同梱のY端子をリモコンコードに圧着して右図のように接続してください。
- リモコンコードは無極性ですので、＋－はありません。

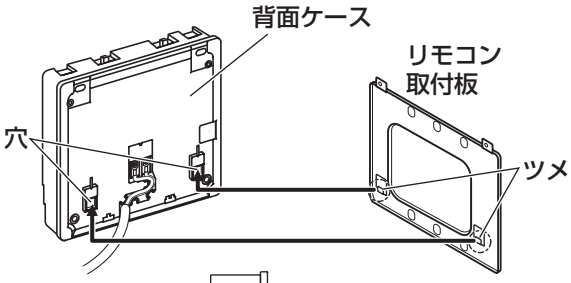


〈リモコンコード露出配線の場合〉

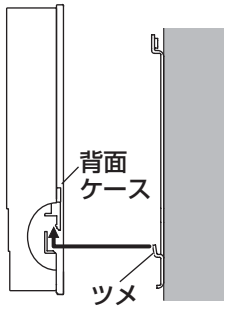
- **コミュニケーションリモコンは、設置場所に注意してください。**
  通話時にハウリング（「キーン」という音）を起こすことがあります。
- 浴室リモコンと台所リモコンを同一の壁をはさんで表と裏に取り付けないでください。
- 浴室の扉を閉めても、話し声が直接聞こえる場所では、ハウリングを起こすことがあります。
  通話音量を小さくするか、台所リモコンを離れた場所に設置してください。

5. リモコンをリモコン取付板に取り付ける

① リモコン取付板のツメを背面ケースの穴に差し込むように挿入してください。

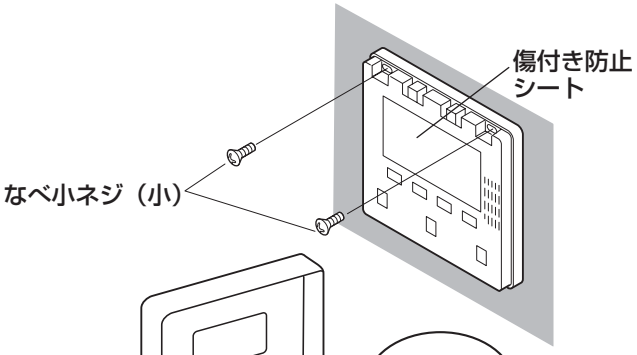


〔注意〕
ツメにかけた状態で手前に引くと、背面ケースが破損する恐れがあります。
リモコンを外すときは上にスライドさせてください。



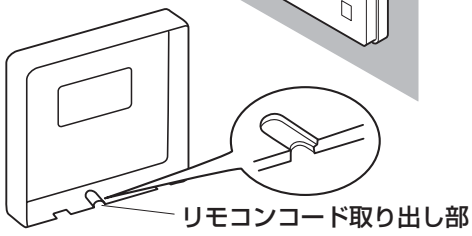
② 同梱のなべ小ネジ（小）で固定してください。

③ 表示部の傷付き防止シートをはがしてください。



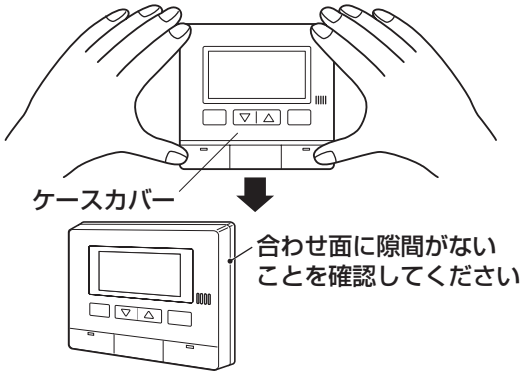
6. リモコンコード取り出し部をあける

- リモコンコードが取り出せるようにケースカバー下部を右図のように切り欠いてください。



7. ケースカバーを取り付ける

- ケースカバーの四隅をパチンと音がするまで押し込んでください。



台所・増設・床暖房リモコン工事

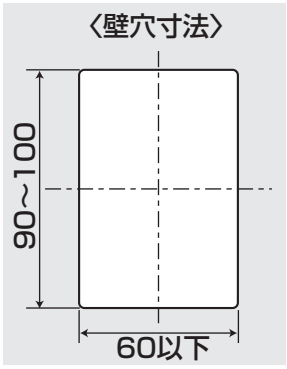
リモコンコード埋込配線の場合

●8～9ページの **取り付け場所を選定する** に従ってください。

〔単位：mm〕

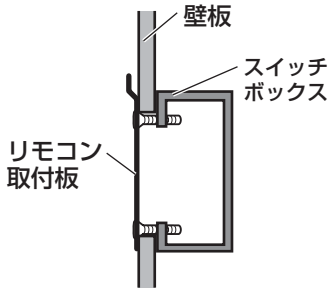
1. 壁に穴をあける

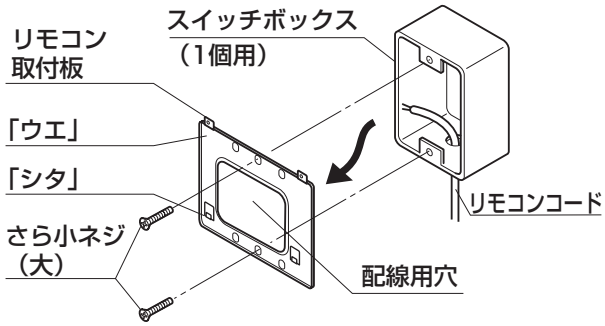
壁にあける穴の大きさに注意してください。
右図寸法より大きくあけるとリモコン取付板が穴に落ち込みリモコンが取り付けできなくなります。



2. リモコン取付板をスイッチボックスに固定する

- リモコン取付板をスイッチボックスに取り付け、同梱のさら小ネジ（大）で固定します。（リモコン取付板の「ウエ」「シタ」を確認）
- 必ず同梱のさら小ネジ（大）を使用してください。同梱のネジ以外（なべ小ネジなど）を使用すると、リモコンの背面ケースにネジ頭が当たり、リモコンが取り付けにくくなります。



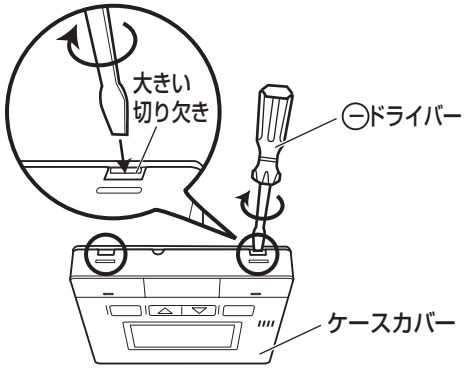


3. ケースカバーを外す

- ケースカバーは、はめ込み式になっています

※ リモコンの下部側を上にして行ってください。

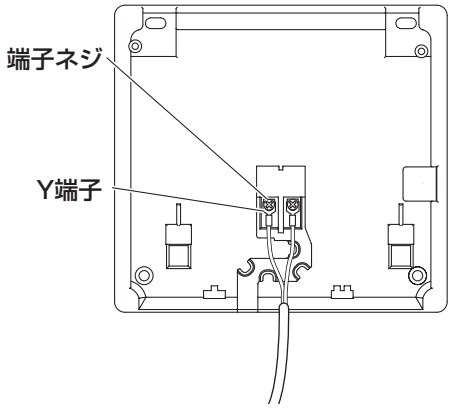
※ ㊀ドライバーを図のように使用するとケースカバーの取り外しができます。



〈リモコンコード埋込配線の場合〉

4. リモコンコードを接続する

- 同梱のY端子をリモコンコードに圧着して右図のように接続してください。
- リモコンコードは無極性ですので、＋－はありません。



5. リモコンをリモコン取付板に取り付ける

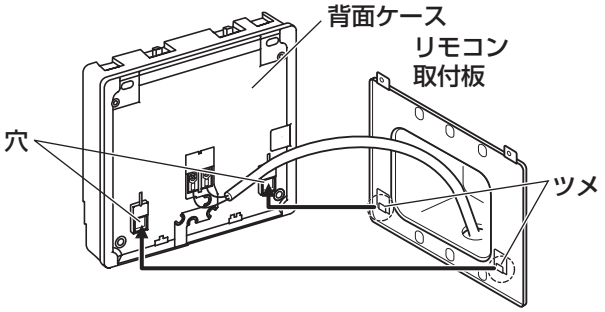
① リモコン取付板のツメを背面ケースの穴に差し込むように挿入してください。
余ったリモコンコードは、壁穴に押し込んでください。この時、端子部に力が加わらないように注意してください。

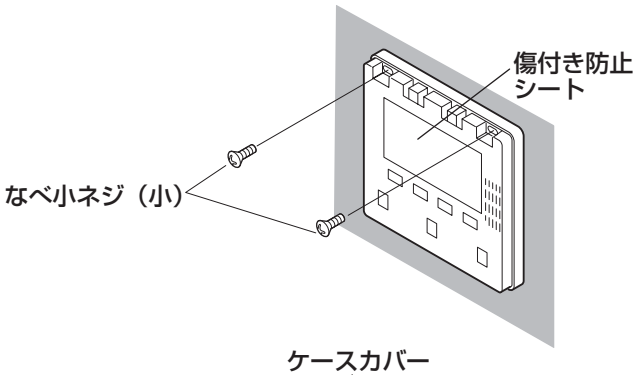
〔お願い〕

- リモコンコードが金属エッジに触れて損傷するおそれがある場合は、ビニールテープなどで保護してください。

② 同梱のなべ小ネジ（小）でリモコン取付板に固定してください。

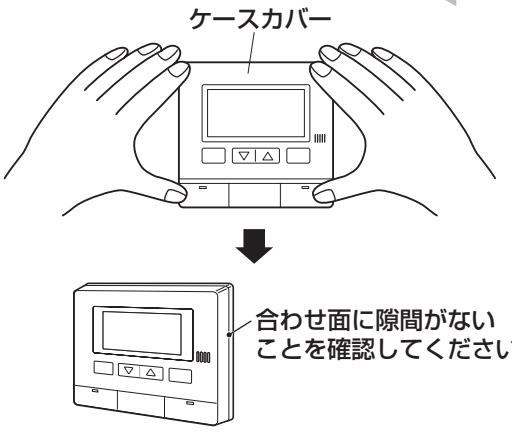
③ 表示部の傷付き防止シートをはがしてください。





6. ケースカバーを取り付ける

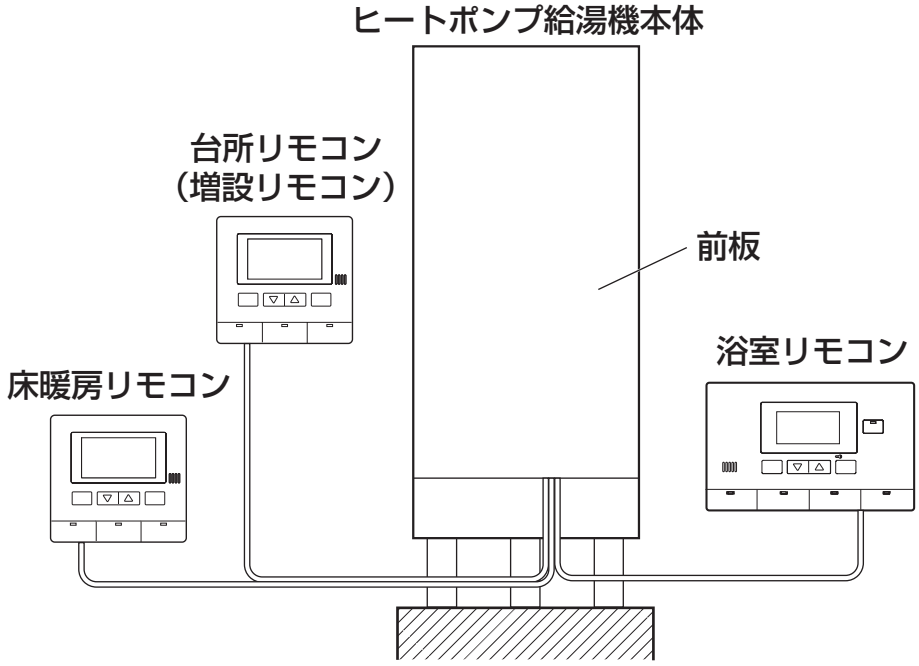
- ケースカバーの四隅をパチンと音がするまで押し込んでください。



■ 工事完了後

- リモコンが確実に固定されていることを確認してください。

ヒートポンプ給湯機との接続



■ リモコンコードの接続

①前板の取り付けネジをゆるめ、前板を外してください。

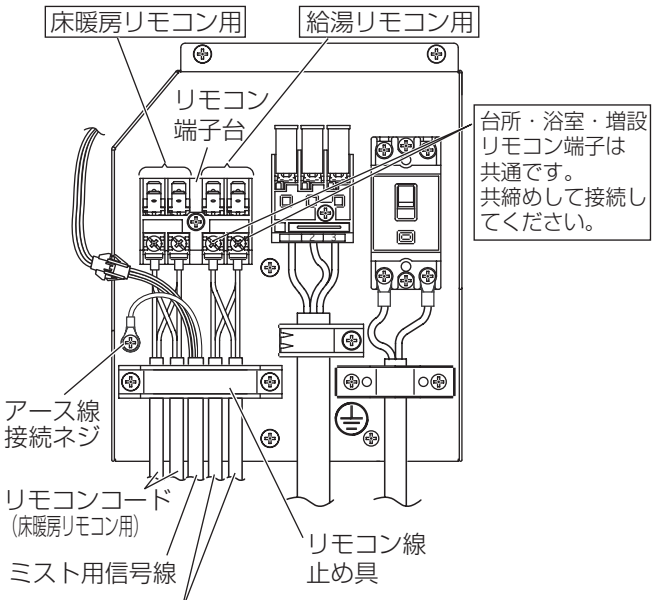
②台所リモコン、浴室リモコン、増設リモコンおよび床暖房リモコンコードを接続してください。

③リモコンコードを、リモコン線止め具で固定してください。

④ヒートポンプ給湯機本体側の電気工事・リモコン工事終了後、電源電線・リモコンコードがかみ込まないように注意して、前板を取り付けネジで固定してください。

ヒートポンプ給湯機の機種により接続位置やリモコン線止め具の位置が異なります。
ヒートポンプ給湯機同梱の工事説明書に従い正しく接続してください。

リモコンコードの接続例　（本図はすべてのリモコンの接続例を示しています。）

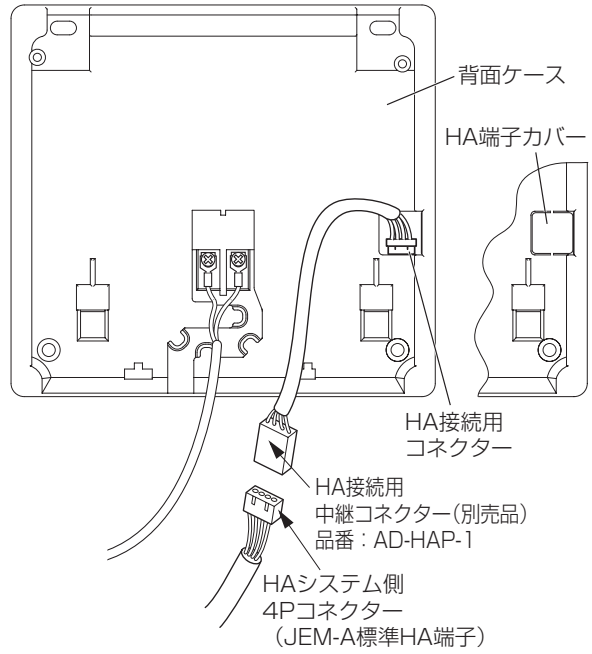


シールド付リモコンコード（品番:AD-GWP102)を使用する場合

リモコンコードのアース線（緑色）を、アース線接続ネジを外し、取り付けてください。

HAシステムの接続

JEM-A標準HA対応機器へ接続する場合
①台所リモコンの背面ケースのHA端子カバーを切り取ってください。
②別売のHA接続用中継コネクター（品番：AD-HAP-1）を挿入してください。
③HAシステム側の4PコネクターとHA接続用中継コネクターを接続してください。
※詳しくはHAシステムの説明書をよくお読みのうえ、正しく接続してください。



工事完了後の確認

（1）リモコンは確実に固定されていますか。
（2）ケースカバーおよび表示部表面の保護シート、傷付き防止シートは、はがされていますか。
保護シートを貼り付けたままにすると、スイッチに保護シートが貼り付いて、スイッチ操作を正常に受け付けない場合があります。
（3）リモコンの動作確認
電源（ブレーカー）を入れた直後はスイッチ操作を受け付けない場合があります。電源を入れてから5秒以上待ってスイッチ操作をしてください。
一度も試運転をしていない場合は、「試運転ナビ」の表示となります。
（4）コミュニケーションリモコンの通話確認
コミュニケーションリモコンの通話確認をする場合は、浴室の扉、窓を閉めてください。
浴室の扉、窓を開けたまま通話確認すると、ハウリングする場合があります。
浴室の扉、窓を閉めても、ハウリングする場合は、台所リモコンを浴室リモコンから離れた場所に設置しなおしてください。台所リモコンを離れた場所に設置できない場合は、通話音量を小さくしてください。

メモ欄

パナソニック電工株式会社
製造元 パナソニック株式会社　エアコンビジネスユニット
〒525-8520　滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号
© Panasonic Corporation 2008

F613642
H0307A3078